

はた よしこ

アール・ブリュット — 表現したい衝動



「絵を描くというのは、特別の学校で学ばなければならない」と思っている人が大半だろう。そんなことには全くとらわれず、また誰からも学ばず自己流の方法で、独自の世界を表現している人たちがいる。

それは「アール・ブリュット」と呼ばれている。まだ聞き慣れない言葉かもしれないが、近年日本でも全国の美術館などで多くの展覧会が開かれ始めた。この言葉はフランス語で「生なまの芸術」という意味で、約70年前フランスの一人のアーティストが提唱し、日本でも近年少しずつ注目され始めた。

人は本来誰でも「自分を表現する自由」がある。しかし、既製品の文化の中で生活している私たちは、このとらわれからなかなか踏み出せない。アール・ブリュットの作者は、知的障害者や精神病患者など、この社会から距離が置かれている人たちが多い。そういう人たちは、他人に惑わされずに自分の中にある強靱な空想力や夢や記憶など

を、自己流の方法で「カタチ」にしている。それは絵であったり、粘土や拾い集めたゴミなどを使った造形物であったりする。その表現は私たちの想像を遥かに超えて、驚くほどの独創性にあふれている。

何でも既製品の中からゲットできてしまう今の時代の中にあつて、人々はこのような表現との出会いによって「自分が自分であること」の根っこを思い起こすスイッチに出会うのだろう。アール・ブリュットは、今や難解になりすぎてしまった現代のアートを越えて、ストレートに私たちの心の深い場所に揺さぶりをかけてくる重要なアートとなるだろう。

はた よしこ

◆ ◆ ◆ ◆ ◆
ボーダレス・アートミュージアムNO-MAアートディレクター、絵本作家。全国でさまざまなアール・ブリュット作品を発掘・研究し、展覧会をキュレーションする。著書に「アウトサイダー・アートの世界」(紀伊國屋書店)ほか。

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

2004年6月、滋賀県近江八幡市の歴史ある伝統的建造物群保存地区に、昭和初期の町家を改築して開館。障害のある人の表現活動を一般のアーティストの作品と共に並列して見せることで「人の持つ普遍的な表現の力」をリアルに感じることができる、特徴あるミュージアム。「障害者と健常者」などのボーダーを超えていく試みをしており、海外との共同企画も実現させている。



開館時間: 11:00~17:00
休館日: 月曜日(月曜が休日の場合は、その翌日)
〒523-0849 滋賀県近江八幡市永原町上16
TEL&FAX: 0748-36-5018 URL: <http://www.no-ma.jp>

近年、私たちの生活の中に深く浸透してきているICT。それは人と人との間を新しいかたちでつないでいます。例えば、遠く離れた場所の人や普通なら出会わないような人同士がソーシャルメディアを通じて親しく交流できるなど、ICTの力は私たちの世界を大きく広げる可能性を持つものです。

私たちは今、こうしたICTがもたらす利便性を様々なかたちで享受しています。しかし、その一方で、そこには多少のとまどいや不安な気持もぬぐいがたく存在するのも事実です。

最近では、常時入ってくるメールや知人のコメントへの対応などに、ある種の気疲れを感じている人も少なくないと聞きます。また逆に、すぐ隣のデスクの人にも、直接話をせずにメールで連絡するなど、すべてをネットですませる人も増えているようで、身近な人との関係性の希薄化も危惧されます。

結局、コミュニケーション能力の基本は、個々人が現実の生活の中で周囲の人たちと日々接しながら身につけていくもので、それは時代が変わっても同じことでしょう。ICTはあくまでも道具や手段。それに振り回されずにどう上手く使いこなしていくのか、それがこれからも私たちに常に問われるものとなってくるはずです。 — 丹戸 裕之

CEL 102号

特集 ICTのエネルギーが社会をつなぐ

発行 ● 平成24年 11月1日 頒価1,000円(送料別途)

発行 大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所 (CEL)
〒541-0046 大阪市中央区平野町4-1-2

発行人 木全 吉彦 *Yoshibiko Kimata*

編集人 丹戸 裕之 *Hiroyuki Tando*

企画制作 豊田 尚吾 *Shogo Toyota*

編集 ● 関西ビジネスインフォメーション(株)内 CEL編集室
〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-18
住友中之島ビル7F
TEL.06-4803-2238

印刷・製本 ● 日本写真印刷株式会社

RESEARCH INSTITUTE FOR CULTURE, ENERGY AND LIFE
© 2012 OSAKA GAS CO., LTD.

禁無断転載複写

※本誌掲載の寄稿文、インタビュー、レポートなどの内容は必ずしも大阪ガスの見解を表すものではありません。本誌・バックナンバーのコンテンツやエネルギー・文化研究所 (CEL) の活動内容はインターネットホームページ [http://www.osakagas.co.jp/company/efforts/cel/] でご覧いただけます。

本誌に関するお問い合わせ、ならびにご購読申し込みや送付先変更のご連絡は CEL 編集室 Tel.06-4803-2238 Fax.06-4803-2240 cel@kbinfo.co.jp まで

思いのままに自己を表現する「生の芸術」

Art Brut

作品写真：大西暢夫

▼古久保憲満「カナダの町」(2011年)



紙、鉛筆、色鉛筆、
ボールペン、水性ペン
546×778

紙上に拡張する世界を描く、2人の作家の展覧会

「スーパー・ワールド・オン・ペーパー 古久保憲満と松本寛庸」
ボードレス・アートミュージアムNO-MAで開催中(11月11日まで)。



松本寛庸さん



古久保憲満さん

▼松本寛庸「サグラダファミリア大聖堂」(2012年)



紙、鉛筆、色鉛筆
380×539

▼久保田洋子 「渦巻きドレスのお姉さん」 (2005年)



紙、色鉛筆、水性ペン 217×267



▲ 蒲生卓也
「パビリオ クロミス ラミレージ」(1999年)

水彩紙、鉛筆、色鉛筆
546×394